

きりの里

(「基里」の「里」を音読みにして、「きり」としています。)



本校は、鳥栖市立基里小学校と
施設分離型小中一貫教育を
推進しています。

鳥栖市立基里中学校
学校だより No.15
令和5年11月15日
校長 中山 孝史

～全校集会～

11/8(水) 日本住血吸虫病(症)を
テーマとして、次の話をしました。

①日本住血吸虫病(症)とは

日本ではかつて筑後川流域と山梨県・広
島県の一部でしか見られなかった風土病で
ある。糸くずのような形をした日本住血吸
虫が皮膚から体内に入り、肝臓と腸に寄生
して卵を産む。すると、腹水がたまり、悪
化すると黄疸が出て、死に至る場合もあ
った。長い間人々を苦しめてきた恐ろしい感
染症である。

②ミヤイリガイの発見

大正2(1913)年、九州帝国大学医
学部衛生学教授の宮入慶之助は、現酒井西
町の用水路で中間宿主となる新種の巻き貝
を発見する。この貝以外で日本住血吸虫は
生活できないことが立証され、この貝を撲
滅させることが病気根絶の対策となること
が判明した。この貝の和名は発見者にちな
んで「ミヤイリガイ」と命名された。この
功績を顕彰して発見の地に近い場所、基里
運動公園北西の一角に「宮入先生学勲碑」
が建立されている。

③撲滅に向けての取り組み

戦後、佐賀・福岡両県で本格的なミヤイ
リガイ撲滅事業が実施される。地域住民の
方々の協力のもと、ミヤイリガイの分布調
査に合わせて用水路のコンクリート化、殺
貝剤の散布などが徹底して行われた。その
結果、平成12年3月病気の根絶と対策事
業の終息を迎えた。久留米市宮ノ陣には、
「宮入貝供養碑」がある。

日本住血吸虫病(症)やミヤイリガイの
ことは知っていましたが、基里校区で発見
されていたことは、初めて知って驚きまし
た。皆さんも普段何気なく近くを通り過ぎ
ている石碑などについて調べてみると、お
もしろいことがわかるかもしれません。い
ろいろなことに興味をもち、「気づくこと」
を大事にしてほしいと思います。

～生徒会役員退任式～

11/7(火) 前期生徒会役員退任式を
リモートで行いました。生徒会長の鍋島暉
史くんをはじめ生徒会役員の皆さんは、基
里中学校のよい雰囲気づくりのために頑張
ってくれました。1年間どうもありがとう
ございました。



～「よろしく先輩」・新入生説明会～

11/10(金) 6・8交流(「よろしく
先輩」と新入生説明会を行いました。

6・8交流では、まず「大人としゃべり
場」の要領で1組と2組に分かれ、中学校
生活についての質疑応答を行いました。そ
の後、パワーポイントで中学校生活の紹介
を行いました。

新入生説明会では、学校方針、教育課程
や生活のきまり、制服・体操服、給食等の
説明を行いました。その後、部活動見学を
行ってもらいました。

ご来校いただいた基里小6年生の皆さん
引率の先生方、保護者の皆様、ありがとう
ございました。

～いじめ・いのち集会～

11/14(火) いじめ・いのち集会を
行いました。「なくそう いじめ」こども会
議の報告、人権週間及びいじめ防止標語コ
ンテストの紹介を3年生が行いました。